

BrightEyes 瞳を輝かせて

輝

自分の実力を試したい

第17回愛知県小学生陸上競技選手権大会で優勝

佐野 敬祐君（北部小学校6年）

「夏」から、先生がハードルの指導をしてください、今大会では優勝できました。とてもいい成績が残せてよかったです」と話すのは、11月3日、瑞穂公園陸上競技場で行われた、第17回愛知県小学生陸上競技選手権大会に出場。見事80mハードルで優勝を果たした佐野敬祐君です。

大会ではまず予選が3組に分かれて行われ、そのタイムの速い方から8人が決勝に進みました。そして決勝では、今までの80mハードルの大会記録を0・1秒上回る、12秒74という大会新記録で優勝。「大舞台に出た経験があまりなかったため、大会当日は緊張しました。雨が降っていたので前がとも見づらく、また80mは長いので、ちゃんとゴールできるかどうか心配でしたが、本番ではいつもの練習どおりできたと思います。予選のとき



▶▶▶プロフィール
さの・けいすけ 平成4年生まれ11歳。北部小学校6年。サッカー部に所属。陸上競技大会以外にも水泳大会などに出場。空手にも取り組む。

きに、最後のハードルに足をふつけてしまったので、次の決勝に出れるかなという心配はありましたが、決勝では、1位になったのでうれしかったです」と大会を振り返ります。

県大会への出場条件は、8月に安城市の総合運動公園で行われた西三河少年少女陸上競技大会に出場し、タイムごとに分けられた初級から特級までの4つの級のうち、上級が特級に合格すること。佐野君は特級に見事合格し、出場資格を得ました。佐野君がハードルを始めたのは、小学5年生のとき。きっかけは西加茂郡陸上競技大会（郡陸）の選考会で、タイムがよかったことです。そしてその後、2年間を掛けて力を付けていきました。

練習は北部小学校のグラウンドで、夏休みの初めの1週間と8月の第1土曜日までの1週間行っただけ、8月の終わりから再び行いました。練習では、フォームはほぼできていたので、筋力や柔軟性を伸ばし、特に抜き足を前に出して、より早く足が地面に着くように心掛けたという佐野君。9月の郡陸が距離60m、高さ68cmのハードルなのに、あらかじめ県大会の距離80m、高さ70cmのハードルを想定し練習していました。そして安城の大会で特級を取った勢いそのままに、郡陸で1位という成績を収め、さらに自信を付けて県大会に臨みました。県大会の決勝で、応援に駆けつけた家族が見守るなか、トップでゴールを駆け抜けた瞬間は「やったぞー」という気持ちでいっぱいになりました。

今後の目標について「もっと大きな大会に出てみたいです。そして自分の実力を試してみたいです」と力強く話す佐野君。

いろいろな大会に挑戦し、これからも頑張っていってほしい。

みつけたみよしのはつらつさん

楽しみを持つことが大切

野々山 義之さん（福田）

「若いころに農業を学んで、今でも畑仕事は続けている」と話す野々山義之さん。ほとんど毎日、2、3時間ほど掛けて、畑で草取りなどの作業を行い、サトイモ、サツマイモ、ニンジン、ホウレンソウなどを育てています。

また畑仕事以外では、週に3日、朝8時からグラウンドゴルフで体を動かしている野々山さん。「適度な運動にもなるし楽しいので、年寄りの運動にはいいね」とにっこり。そして10時になると自分で車を運転して中部老人憩いの家まで行き、お昼まで碁を打っています。

碁のほかにも、マージャンも打っているという野々山さん。30歳くらいのころから打ち始め、今は福田老人憩いの家で友人たちと一緒に楽しんでいます。「勝負事なので、勝ったり、負けたたりするのが面白いね。マージャンは頭を使うし、指も動かすので、ボケ防止にもいいんじゃないかな」と話します。

いつまでも、元気で楽しく過ごしていってほしい。



▶▶▶プロフィール

ののやま・よしゆき 大正5年生まれ87歳。趣味は囲碁やマージャン。囲碁は3段の腕前。外に出掛けるとき、豊田市や知立市くらいまでであれば、交通安全を心掛けながら自分で車を運転して行く。

がんばれ！みよしっ子

南中学校 女子バレー部

南中学校の女子バレー部を紹介します。顧問の平川哲也先生とキャプテンの田崎佑奈さんに話を伺いました。

2年生5人、1年生16人の21人で、いつも明るく、掛け声を出し合って練習に励むバレー部。田崎さんはキャプテンとして、みんなに声を掛けるように心掛けています。「今、練習では特にサーブカットをしっかりできるように取り組んでいます。全員がとも仲のいいチームなんです」と笑顔で話します。

2月に行われる1年生だけが出場する大会や、3月に行われるスプリングカップに向け、基本的なミスで自滅してしまうことをなくそうと、平川先生の指導にも力が入ります。「試合では、気持ちで負けないように、あきらめずにやってほしいですね。またチームワークを大切に、試合に出ているだけでも、それぞれがチームのことを考えて行動できるようになってほしい」と期待を込めて、指導に対する思いを話します。

田崎さんは「来年夏の西三河大会に出場することが目標。部員一丸となって頑張っていきたいです」と力強く抱負を語っていました。

